

世界 10 カ国からの地場産品 道内企業・バイヤーへ紹介 ～世界の地場産品を味わい交流～

JICA 北海道（帯広）が実施する課題別研修「売れる地場産品の開発～一村一品の実践～」に参加する研修員 12 名が、各国の珍しい地場産品を持ち寄り、道内企業・バイヤーとの交流会を開催いたします。

交流会は、本研修委託機関である一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）が主催し、研修の一環として実施いたします。本研修では、地域資源を活かし独自のストーリーを織り込んだ商品開発や販売方法を創意工夫することにより、海外市場への販路拡大や地域振興・地方創生を目指しております。研修員は11月18日～11月27日まで研修のため帯広に滞在いたします。

交流会当日は、一村一品アプローチを継続的に指導してきた日本人コースリーダーも同行いたしますので、ぜひ取材をご検討くださいますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。

なお、11月23日には、士幌町とキルギスのイベント「シーベリーDAY」を視察するため「道の駅ピア21しほろ」の訪問も予定しております。

記

日 付： 2019年11月22日（金）

時 間： 13：00 - 16：00

場 所： TKP ガーデンシティ帯広駅前
帯広市西1条南12丁目8番地（アパホテル帯広駅前2F）

参加者： 研修員側 12名
（アフガニスタン、アルバニア、アルゼンチン、ブータン、ボリビア、ガーナ、ホンジュラス、ヨルダン、コソボ、ベトナム）

日 本 側 20名程度（地場産品の商品開発や製造・販売を行う企業、バイヤー）

その他： 英語通訳者が同行いたします。
研修員は英語を話せますので、直接コミュニケーションすることも可能です。

※取材をご希望の場合は、事前に下記までご連絡下さい。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道センター（帯広）道東業務課 小野 寿士
TEL 0155-35-1210 e-mail : Ono.Hisashi@jica.go.jp